



號 二 第 卷 七 第

行 發 日 一 月 四 年 一 十 正 大

回 四 年

目 次

古代支那の鐵器に就いて(上) 文學博士 松本文三郎
 聖覺を中心としたる親鸞と法然(上)
 文學士 松本彦次郎
 黄河々道變遷の地文學的考察 文學士 藤田元春
 平安朝に於ける舞踊について(下)
 文學士 櫻井秀
 興正菩薩寂尊の自叙傳について(上)
 橋川正
 幕末に於ける海軍の創設 文學士 古田良一
 歐米人の書ける日本史の栞(三)
 文學士 牧健二
 法學士
 昨年の史學地理學界
 彙報
 會報

內 部 學 文 學 大 國 帝 都 京

會 究 研 學 史

前號目次

口 繪	日教上人畫像		
新羅骨品考	文學博士	今 西 龍
歴史の認識に就いて	文學博士	田 邊 元
清朝初期の繼嗣問題	文學博士	内藤虎次郎
南北合體條件につきて	文學博士	三 浦 周 行
世界史の使命	ドクトル	ルードキヒ・リース
平安朝に於ける舞踊について		櫻 井 秀
大塚退野の生涯と其の著書	文學士	今 村 孝 三
勸學院	文學士	松 野 遵 崇
常盤博士著「古賢の跡へ」を讀む	文學士	武 内 義 雄
歐米人の書ける日本史の榮	文學士	牧 健 二
會 報	法學士	

